

シンポジウムの種

第6号 7月20日発行
宮城学院女子大学学芸員課程
2022年度シンポジウム実行委員会
連絡先 人間文化学科副手室
TEL 022-277-6166

～シンポジウムで何を聞ける？～

当日各館にお話しいただく内容をご紹介します！



渡部直子さん

仙台文学館 学芸室長

内容：仙台文学館内でユニバーサルデザイン化がどのようになっているのかどうか。またコロナ禍で変化した展示や、資料をデジタル・アーカイブ化にする際の内容や工夫、せんだい Tube で公開されている動画の制作についてお話しいただきます。



渡邊直登さん

仙台市歴史民俗資料館 学芸員

内容：建物自体が有形文化財に指定されている資料館が直面するユニバーサルデザイン化の課題と、民俗芸能の魅力を PR している YouTube チャンネル「仙台市歴史民俗資料館」開設の経緯、民具を取り入れたハンズオン展示についてお話しいただきます。



佐藤祐輔さん

仙台市縄文の森広場 所長

内容：館の資源やデータに基づいた需要把握の必要性をお話しいただきます。またデジタル化に分類される QR コードや 3D モデルの活用、体験コーナーを通したバリアフリーの可能性、博物館の利用方法の多様化についてお話しいただきます。



シンポジウム当日のスケジュール


12:30	開場	
13:00	開会宣言、委員長挨拶	
13:05	学生発表 (25分)	
13:35	講演	
	仙台文学館	13:35~14:00
	仙台市歴史民俗資料館	14:00~14:25
	仙台市縄文の森広場	14:25~14:50

14:50 休憩 (15分)

15:05 ディスカッション

16:00 閉会宣言

仙台市内の三つの博物館から直接お話をお伺いできる貴重な機会です。有意義なシンポジウムとなるようたくさんの準備をしています。当日はぜひ皆さんお越しください！申込方法などの詳細は二面をご覧ください。

シンポジウムまであと  日

シンポジウムに向けて（記録部編）

記録部では、【連載】博物館実習の様子で掲載する写真の撮影や、各班の打ち合わせ時の議事録を作成したり、その他『シンポジウムの種』に掲載するための写真撮影をしたりと、主に裏方の活動をしています。当日はシンポジウムの記録撮影も行います。



「博物館実習」(c)クラス

【連載】博物館実習の様子 4



博物館実習(c) 木村組では、遺跡見学実習として史跡の陸奥国分寺跡を巡検しました。現存する陸奥国分寺薬師堂は江戸時代に建てられたことと、この薬師堂の場所が奈良時代に建てられた陸奥国分寺の講堂跡の位置と重なっていることから、この場所は二重の文化財といえる、という先生の話聞き、皆興味津々に質問を重ねていました。写真は南大門跡の前で説明を受けている様子です。

HPにて『シンポジウムの種』（カラー）掲載中



←学芸員課程 2022 年度
HP はこちら！

2022 年度シンポジウムタイトル

多様性と

～全ての人に開かれた博物館を目指して～

博物館

パネラー：

渡部直子氏（仙台文学館）

佐藤祐輔氏（仙台市縄文の森広場）

渡邊直登氏（仙台市歴史民俗資料館）

日時：7月23日（土）13:00~16:00

会場：大学講堂

主催：宮城学院女子大学学芸員課程

申込：事前申込制（氏名、ご連絡先を明記の上、
下記メールアドレスへお申し込みください）

mg-gakugeiin@mgu.ac.jp

📎 編集後記

シンポジウム開催前最後の発行となります。今号では、パネラーの方々にお話しいただく内容、当日のスケジュール、【連載】博物館実習の様子(c)クラスと記録部の活動を掲載いたしました。次号で『シンポジウムの種』もいよいよ最終号です。お楽しみに！（木村、砂子澤、松本、柳谷）